

「令和4年度家庭教育学級」の実施について

当課では、家庭における教育力を向上させ、人間性豊かな子どもを育成するために家庭教育学級を実施しております。

今年度も機会や参加者を限定することなく恒常的に情報発信するために、オンラインを活用した方法により下記のとおり実施いたします。

記

1 目 的

家庭教育に関し、身近な相談先が少ない、情報過多により適切な情報の取捨選択が困難、家庭環境の多様化による学校生活への適応難といった、課題対応への支援を目的とする。

2 主 催

板橋区教育委員会

3 実施方法

講義動画(全4本)を区ホームページ内の「チャンネルいたばし」(YouTube)に掲載する。

4 講 師

一般社団法人 共生と共育ネットワーク 木村 尚文

5 テ ー マ

「生きる力」を育む親子のコミュニケーション～自己肯定感を育む子育て～

6 内 容

- (1) 変化・多様化する社会で必要とされる「生きる力」(約15分)
- (2) 子どものありのままを認め「自己肯定感」を高める(約16分)
- (3) 「思春期」の特徴から留意したい幼少期からのコミュニケーション(約17分)
- (4) 「Iメッセージ」が主体的に考えチャレンジする子どもを育む(約17分)

7 対 象 者

子どもを持つ保護者

8 掲載期間

令和4年12月17日(土)から令和5年12月16日(土)まで

9 周知方法

区立小中学校に通う児童生徒の保護者にお知らせ配信システムによる周知

10 問合せ先

教育委員会事務局地域教育力推進課青少年係

TEL: 03-3579-2488 担当: 五味

令和４年度家庭教育学級 要旨

「生きる力」を育む親子のコミュニケーション～自己肯定感を育む子育て～
一般社団法人共生と共育ネットワーク 代表理事 木村尚文

本年度の家庭教育学級は、「生きる力」を育む親子のコミュニケーション」をテーマに、不登校やキャリア教育を含め教育の推進に関する普及活動に取り組む、一般社団法人共生と共育ネットワークの木村尚文代表理事を講師に、動画配信の形で、保護者向けに、講演を実施します。

今回の講演では、子どもが「生きる力」を育んでいくなかで、親の子どもへの関わり
の不安や難しさを支援、寄り添うことをコンセプトとしています。

講演は、４部構成、全体で１時間の内容となっています。

講演の要旨は、次のとおりです。

- １ 今、子どもたちに、主体的に考え、やり遂げる「生きる力」が求められている中で、社会の変化もあり、子どもへの関わり方に不安を持つ親もおられます。
子どもの主体性を育むコミュニケーションについて考えます。
- ２ 子どもの主体性を育むには、親の前向きな寄り添いが大切な中で、親として自分の
枠で子どもをあてはめていないか、子どもの気持ちに共感して、受容する、自己
肯定感を高めるコミュニケーションについて考えます。
- ３ 思春期の子どもの特徴を理解し、親から見えない子どもの本音を引き出すコミュ
ニケーションについて考えます。
- ４ 「私」を主語とした親の想いや考え、判断は子どもに委ねる「Ｉメッセージ」。
子どもが考えたくなる「Ｉメッセージ」について考えます。

全編を通して、「生きる力」につながるコミュニケーションについて考えます。

配信は、令和４年１２月１７日（土）から１年間。

区ホームページ内の「チャンネルいたばし」で視聴していただけます。

周知につきましては、スママチメール等でご案内いたします。

「生きる力」を育む 親子のコミュニケーション



～自己肯定感を高める子育て～



- ①変化・多様化する社会で必要とされる「生きる力」(約15分)
- ②子どものありのままを認め「自己肯定感」を高める(約16分)
- ③「思春期」の特徴から留意したい幼少期からのコミュニケーション(約17分)
- ④「Iメッセージ」が主体的に考えチャレンジする子どもを育む(約17分)

公開期間

令和4年12月17日(土)から
令和5年12月16日(土)まで

視聴方法

板橋区HP「チャンネルいたばし」

※YouTube上に公開

※視聴にあたり発生する通信料は視聴される方のご負担となります。

アンケートのお願い

※視聴後動画詳細欄またはQRコードからアンケートにご協力をお願いします。



チャンネルいたばし

検索



トップページ> 区政情報> 広報> 映像広報>
動画配信サービス「チャンネル板橋」・ガイドページ>
その他動画コンテンツ掲載> 地域教育力推進課チャンネル>
家庭教育学級> 動画掲載ページ

【講師】

木村 尚文(キムラ ナオフミ)

一般社団法人共生と共育ネットワーク代表理事/教育カウンセラー
アンガーマネジメントコンサルタント®
アンガーマネジメントキッズインストラクター®
アンガーマネジメントティーンインストラクタートレーナー®

【経歴】

北海道大学を卒業後、学習塾・予備校・通信制高校と教育業界の運営に携わり多くの子どもたち・保護者に寄り添い不登校・中退・ひきこもりの支援に従事する。

2021年より一般社団法人 共生と共育ネットワークの代表理事に就任。

アンガーマネジメント、進化するデジタル・ネット社会を生き抜くために必要な子どもの育み方、不登校・引きこもりへの対策やいじめ防止、親と子、先生と生徒、夫婦間、職場間の円滑なコミュニケーションについての講演会やワークショップを全国にて展開する。

主催：板橋区教育委員会



家庭教育学級とは

家庭教育に関し、身近な相談先が少ない、情報過多により適切な情報の取捨選択が困難、家庭環境の多様化による学校生活への適応難といった、課題対応を支援するために教育委員会が実施している講座です。

子どもと保護者とのコミュニケーションを通して親子で一緒に考え、取り組むきっかけを提供することで、家庭における教育力の向上を支援します。

区取り組み

年齢別/身に付けたい基本的な生活習慣

3・4・5歳児と中学校入学を控えた児童を対象に、家庭で身に付けたい基本的な生活習慣をお知らせしています。

3・4歳児にはそれぞれ『3さいからの!!いきいき ちゃれんじ せいかつ』
『4さいからの!!いきいき ちゃれんじ せいかつ』を、5歳児には『小学校入学にそなえよう!いきいき ちゃれんじ せいかつ』をチェックシート形式で作成し、区内保育園・幼稚園等で年に1度配付しています。

また、区立小学校6年生には、『中学校入学前の生活サポートシート』を配付しています。

幼少期から規則正しい生活習慣を身に付け、新しい環境で気持ちよく過ごせるよう、ぜひ、ご活用ください。



板橋区HP

「年齢別/身に付けたい基本的な生活習慣」



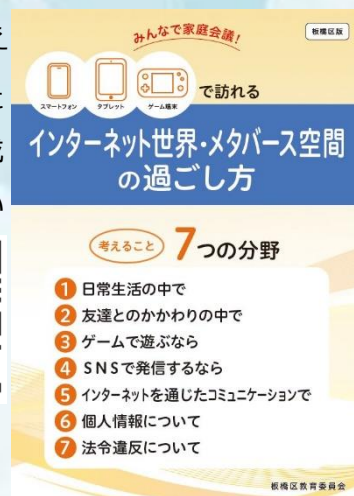
「みんなで家庭会議! スマートフォン・タブレット・ゲーム端末で訪れるインターネット世界・メタバース空間の過ごし方」

子どもたちがスマートフォン・タブレット・ゲーム端末を使うにあたり、考えるべき7つの分野を示したうえで、家庭での対話を促す質問を投げかけ、自分たちで考え、答えを見つけ、納得した家庭のルールを作ることに主眼を置いた構成にしています。例示に縛られることなく、7つの分野のことについて、広く、いつでも、何回でも話し合ってください、お子様の安心・安全と無限の可能性につなげていただければ幸いです。



板橋区HP

「家庭教育支援リーフレット」



問合せ：板橋区教育委員会事務局地域教育力推進課 青少年係
TEL：03-3579-2488 Mail：jseisho@city.itabashi.Tokyo.jp